

総合科目〈総合科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期間	人数制限
社会福祉論			11369	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
西橋 隆三	選択	2	元市職員(福祉事務所長・障がい児療育センター所長) 社会福祉士			

授業の到達目標

高齢化・少子化が同時進行している現代の社会状況の中で、福祉、介護、医療等の問題には誰もが直面することとなる。これらの福祉問題の内容を理解し深く考えていくことは、福祉の専門分野に携わっていくためには不可欠なことである。授業では社会福祉の理念、制度や援助などを広い視野から学び主体的に考える力を身に付ける。このクラスでは主にKAISEIパーソナリティのI(知性)とS(奉仕)を養う。

授業の概要

授業では、社会福祉に関する基本的な項目を学習するとともに、最新のデータや資料によりわが国の社会福祉の動向や課題等を理解できるようにする。指定する教科書の構成に従い授業を進めるが、時事的な問題やキーワードとなる内容などは討議しながら内容を深めて確認する。

授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 社会福祉とわたしたち
- 3 社会福祉の歴史の変遷
- 4 社会福祉の理念(意味と考え方)
- 5 現代社会の生活問題と社会福祉
- 6 社会福祉行政と実施体系
- 7 社会福祉と社会保障の制度(生活保護制度を中心に)
- 8 社会福祉の専門職
- 9 共生社会の実現と障害者施策
- 10 子ども家庭福祉と社会福祉
- 11 少子高齢社会と子育て支援
- 12 社会福祉における相談援助
- 13 社会福祉における利用者保護にかかわる仕組み及び医療福祉
- 14 社会福祉の課題(在宅・地域福祉)
- 15 まとめ講義とレポートの提出

授業の方法

講義を主体としながら視聴覚教材やディスカッションを取り入れていく。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点40%、レポート60%

欠席について

欠席が5回を超えた場合は不合格とする。

テキスト

一瀬早百合「社会福祉とわたしたち」萌文書林 2022年
また、授業の中で必要な資料を配布する。

参考図書

必要な参考図書については授業の中で提示する。

総合科目〈総合科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期間	人数制限
人権教育論			11373	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
松井 敦	選択	2	中学校教諭中学校教頭小学校校長			

授業の到達目標

人権教育の基本的な概念や、社会にある様々な人権侵害事象について理解し、人権問題に対する知見を深めるとともに人権感覚を高めて実践力を養う。そして学校での人権学習の具体的な方法や、このクラスではKAISEIパーソナリティI(知性)とS(奉仕)を養い、人権が尊重される社会を築くにはどうすればよいか、学校教育の中でどうすればよいかを考察する過程で、K(思いやり)の諸能力を生かす。

授業の概要

人権教育は、人権尊重の理念に対する理解を深め、生命の尊厳を基盤に、他に対する肯定的な態度と共生社会の実現に主体的に取り組む実践力を育成するための教育である。授業では、社会にある様々な人権問題や人権侵害事象についての知見を深めながら、目まぐるしく変化する人権感覚についても検証し、人権が尊重される社会を築くにはどうすればよいか、教育の中でどうすればよいかを考察する。

授業計画

- 1 ☆人権教育とは？
・「人権問題」にはどんなものがあるか？・今まで学校で受けてきた「人権教育」は？・「戦争」と「人権」・「新型コロナウイルス感染症」と「人権」
- 2 ☆差別はなぜ起こるのか？
・「震災」と「震災デマ」・フェイクニュース・なぜ人は「人権侵害」するのか？・「人権教育」とは？
- 3 ☆人権教育を推進するために
・「人権問題」を考えるにあたって大切なことは？
- 4 ☆同和問題を考える①
・同和問題(部落差別)って何？
- 5 ☆同和問題を考える②
・同和問題(部落差別)とは・同和問題の歴史
- 6 ☆同和問題を考える③
・同和对策審議会答申・33年にわたる同和对策事業・見えにくい「部落差別」問題・部落差別解消推進法・「寝た子」はネットで起こされる
- 7 ☆ヘイトスピーチを考える ～在日コリアンの理解～
・外国人と人権・朝鮮半島と日本の関係・「在日コリアン」とは？・ヘイトスピーチ解消法
- 8 ☆障がい者理解
・人権三法・障害者差別解消法・「障害を理由とする差別」とは・合理的配慮
- 9 ☆特別支援教育・インクルーシブ教育
・特別支援教育をめぐる制度改正・インクルーシブ教育システ

ムとは・日本のインクルーシブ教育の現状と課題

- 10 ☆いじめ問題を考える
・いじめ防止対策推進法・いじめ防止基本方針・いじめが起こったらどう対応するか？・[いじめ]をどう教えるか？・情報モラル教育
- 11 ☆セクシャルマイノリティの理解
・性の多様性に関する基礎知識・日本の「性的マイノリティ教育」の現状・性的指向に関する世界の状況
- 12 ☆人権感覚・基本的人権
・日本の「ジェンダーギャップ指数」・自分自身の人権感覚をみつめてみる・人権自己診断・改めて「基本的人権」を考える
- 13 ☆世界人権宣言・子どもの権利条約・ユニセフ(UNICEF)・国連児童基金
- 14 ☆SDGsから考える人権教育
- 15 ☆まとめテスト(小論文)

授業の方法

毎回配布するレジメ・資料を中心にパワーポイントを使って講義を進める。また視聴覚教材を活用しながら社会にある様々な人権侵害事象についての学習を深める。また人権感覚を磨く方法や、人権教育の在り方について考察し、実際の取り組み方を学ぶ。

準備学修

報道される人権問題に関心を持っておくこと。毎回配布されるレジメやプリントをファイルし、整理保存すること。

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

欠席について

やむをえず欠席する時は事前事後に届け出ること。

テキスト

参考図書

授業の中で適宜紹介する。

留意事項

毎回の授業のレジメと資料をファイルに整理し、最後に提出。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲掲示板を確認のこと。

資格科目〈キッズ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期間	人数制限
教職概論(中高)			13809	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
松井 敦	選択	2	中学校教諭中学校教頭小学校校長			

授業の到達目標

教職の意義、教員の役割を理解する。学校教育や教員をめぐる今日的な課題を理解する。教員の資質能力と職務内容について理解し、身につけることを目標にする。このクラスではKAISEIパーソナリティのA(自律)とI(知性)を養う。

授業の概要

未来を語るキーワードとして「Society5.0・AI・IoT・ICT・SDGs」が語られ、また学習指導要領、生徒指導要領が改訂され、教育を取り巻く今日の課題が、大きく変わってきている。このような状況の中、教育の課題を整理しながら、教員の資質や能力の向上、研修方法について学び、さらに、学校制度の歴史的な変遷や諸外国の制度との比較から、現在の学校教育の在り方や、「教職」の意義、教員の役割を考察していく。

授業計画

- 1 授業内容のガイダンス、教職の社会的な意義(学校制度の変遷・公教育の目的・学校の組織・教職員研修)
- 2 教育を取り巻く今日の課題
- 3 新学習指導要領がめざすもの ～外国語教育～
- 4 新学習指導要領がめざすもの ～道徳教育～
- 5 生徒指導
- 6 いじめ問題・情報モラルセキュリティ
- 7 教員に求められる資質能力
- 8 教員の服務と義務・働き方改革
- 9 人権教育・教員の人権感覚
- 10 特別支援教育・インクルーシブ教育
- 11 安全・防災教育と危機管理について
- 12 特別活動
- 13 キャリア教育と進路指導・総合的な学習(探求)の時間
- 14 校種間連携・地域連携・チーム学校・コミュニティスクール
- 15 「評価」について・まとめテスト(小論文)

授業の方法

毎回配布するレジメ・資料を中心にパワーポイントを使って講義を進める。また視聴覚教材を活用しながら学習を深める。講義を主とするが、グループワークなども取り入れる。

準備学修

指示されたテキストを事前に読んで理解したり、義務教育関連の情報積極的に収集したりすること。

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

欠席について

やむを得ず欠席する場合は事前事後に届け出ること

テキスト

「小学校学習指導要領(平成29年告示)」(文部科学省)

参考図書

必要に応じて適宜紹介する。

留意事項

毎回の授業のレジメと資料をファイルに整理し、最後に提出。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲掲示板を確認のこと。

資格科目〈キッズ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期間	人数制限
教職概論(キッズ)			13809	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
松井 敦	選択	2	中学校教諭中学校教頭小学校校長			

授業の到達目標

教職の意義、教員の役割を理解する。学校教育や教員をめぐる今日的な課題を理解する。教員の資質能力と職務内容について理解し、身につけることを目標にする。このクラスではKAISEIパーソナリティのA(自律)とI(知性)を養う。

授業の概要

未来を語るキーワードとして「Society5.0・AI・IoT・ICT・SDGs」が語られ、また学習指導要領、生徒指導要領が改訂され、教育を取り巻く今日の課題が、大きく変わってきている。このような状況の中、教育の課題を整理しながら、教員の資質や能力の向上、研修方法について学び、さらに、学校制度の歴史的な変遷や諸外国の制度との比較から、現在の学校教育の在り方や、「教職」の意義、教員の役割を考察していく。

授業計画

- 1 授業内容のガイダンス、教職の社会的な意義(学校制度の変遷・公教育の目的・学校の組織・教職員研修)
- 2 教育を取り巻く今日の課題
- 3 新学習指導要領がめざすもの ～外国語教育～
- 4 新学習指導要領がめざすもの ～道徳教育～
- 5 生徒指導
- 6 いじめ問題・情報モラルセキュリティ
- 7 教員に求められる資質能力
- 8 教員の服務と義務・働き方改革
- 9 人権教育・教員の人権感覚
- 10 特別支援教育・インクルーシブ教育
- 11 安全・防災教育と危機管理について
- 12 特別活動
- 13 キャリア教育と進路指導・総合的な学習(探求)の時間
- 14 校種間連携・地域連携・チーム学校・コミュニティスクール
- 15 「評価」について・まとめテスト(小論文)

授業の方法

毎回配布するレジメ・資料を中心にパワーポイントを使って講義を進める。また視聴覚教材を活用しながら学習を深める。講義を主とするが、グループワークなども取り入れる。

準備学修

指示されたテキストを事前に読んで理解したり、義務教育関連の情報積極的に収集したりすること。

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

欠席について

やむを得ず欠席する場合は事前事後に届け出ること

テキスト

「小学校学習指導要領(平成29年告示)」(文部科学省)

参考図書

必要に応じて適宜紹介する。

留意事項

毎回の授業のレジメと資料をファイルに整理し、最後に提出。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲掲示板を確認のこと。

資格科目〈キッズ・教職〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教育・学校心理学	ET	13815	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
濱田 誠二郎	選択	2	臨床心理士、公認心理師、学校心理士SV、公立小教員		

授業の到達目標

幼児、児童及び生徒の心身の発達や学習の過程について、基礎的な知識を身に付ける。代表的な研究者の理論に基づく日常的な具体例を取り上げ、教育現場において生じる問題や背景、また、心理社会的課題及び必要な支援を発達を踏まえた主体的な学習活動を支える指導の基本的な考え方として理解する。
このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI（知性）とE（倫理）の育成を目指す

授業の概要

教育課程上の様々な場面に現れる課題、主に幼児期・児童期における乗り越えるべき課題を具体的には、教育現場において生じる問題や背景、また、心理社会的課題及び必要な支援心理学的な切り口で捉える。子どもの健やかな成長のために、発達・学習・人格・適応・保育者との関係性・特別支援教育等の現状と課題などを体系的に学ぶ。

授業計画

- 1 幼児、児童及び生徒の心身の発達に関するエリクソンの理論と方法
- 2 幼児、児童及び生徒の心身の発達に関するピアジェの理論と方法
- 3 幼児、児童及び生徒の心身の発達に関する道徳的なコールバークの理論と方法
- 4 幼児期から青年期において、社会性の発達
- 5 幼児期から青年期における現代の発達課題
- 6 認知発達、認知機構の変遷
- 7 主体的な学びの開発と体系化
- 8 主体的、対話的で深い学びの実践例
- 9 学習内容、発達に応じた適切な学習形態
- 10 動機づけ、意欲を引き出す学習形態の在り方に関する事例研究
- 11 主体的な学習の成果を的確に捉えた評価
- 12 学習成果の可視化
- 13 主体的な学習、思考力を育む学習集団
- 14 発達障害の理解と支援
- 15 まとめと振り返り

授業の方法

講義が中心ではあるが、時には双方向のコミュニケーションを採り入れて、各自の考えを交流しながら進める。

準備学修

各自の幼児期・学童期を振り返り、良かった支援や今でも疑問に思えることを整理しておくこと。

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

欠席について

15回出席を原則とし、1回の欠席で5点減点とする。

テキスト

必要に応じて指示する

参考図書

授業中に紹介する

留意事項

マスコミでとり上げられる子どもに関する記事に興味・関心を持っておく。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

資格科目〈キッズ・教職〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教育課程及び総合的な学習の時間の指導法（中高）		13854	II	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
松井 敦	選択	2	中学校教諭中学校教頭小学校校長		

授業の到達目標

教育課程の意義や編成の方法を学び、カリキュラムマネジメントの重要性を理解する。また、教育課程における総合的な学習の時間の位置づけや意義を理解し、指導計画の作成の仕方を修得する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI（知性）とK（思いやり）の育成を目指す。

授業の概要

学習指導要領が改訂され、教育に求められる課題も変わってきている。「主体的・対話的で深い学び」「カリキュラムマネジメント」をキーワードに教育課程の果たす役割や機能、意義を理解し、公的な性格を有する学習指導要領を学ぶ。さらに、学習指導要領の歴史的な変遷や諸外国との教育制度の比較から、現在の教育課程の意図を考察する。授業のまとめとして、「総合的な学習（探求）の時間」の単元計画の作成に取り組む。

授業計画

- 1 ☆はじめに・教育課程と総合学習
 - ・「教育課程」とは？・標準授業時数・「学習指導要領」とは？・「学習指導要領」の法的根拠・教育課程は、誰が決めるのか？・「総合的な学習（探求）の時間」の創設
- 2 ☆新学習指導要領のめざすもの
 - ・学習指導要領の改訂・新学習指導要領のめざすもの（改訂にこめられた願い）・新学習指導要領が示す具体的な改定のポイント
- 3 ☆「主体的・対話的で深い学び」とは
 - ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善・「主体的・対話的で深い学び」を促進する教師力・「カリキュラムマネジメント」の視点から
- 4 ☆「主体的・対話的で深い学び」の教育活動の具体を考える①
 - ・宿泊行事について企画する・「教員の連携、複数の教科等の連携」を意識して
- 5 ☆「主体的・対話的で深い学び」の教育活動の具体を考える②
 - ・宿泊行事について企画する・「カリキュラムマネジメント」の視点から
- 6 ☆先進校の実践に学ぶ
- 7 ☆小中一貫教育と教育課程
 - ・学校現場の課題の多様化と複雑化・小中一貫教育の大目的・小中一貫教育の成果
- 8 ☆小中連携・小中高連携
 - ・先進校の実践に学ぶ
- 9 ☆中学校学習指導要領 外国語科の改訂のポイント
 - ・先進校の実践に学ぶ
- 10 ☆総合的な学習（探求）の時間～学習指導要領改訂のポイント～
 - ・「総合的な学習の時間」の経緯

- 11 ☆総合的な学習の時間の目標
 - ・総合的な学習の時間とカリキュラム・マネジメント
- 12 ☆目標を実現するにふさわしい探究課題
 - ・「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」を読む・「総合的な探究の時間」でぶつかる壁・「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」より
- 13 ☆総合的な学習の時間の単元計画を考える
 - ・学校における実践事例・単元計画の具体例・探究的な学習の指導のポイント
- 14 ☆研究開発学校制度・単元計画を考える
 - ・研究開発学校制度について・総合的な学習の時間の単元計画を考える
- 15 ☆まとめテスト

授業の方法

毎回配布するレジュメ・資料を中心にパワーポイントを使って講義を進める。また視聴覚教材を活用しながら学習を深める。講義を主とするが、グループワークなども取り入れる。

準備学修

中学校学習指導要領解説（総合的な学習の時間編）を読んでおく

課題・評価方法、その他

平常点（70%）、定期試験（30%）

欠席について

やむを得ず欠席する場合には、事前、事後に届け出る

テキスト

中学校学習指導要領解説（総合的な学習の時間編）最新版

参考図書

今、求められる力を高める総合的な学習の時間（小）文部科学省編 教育出版
今、求められる力を高める総合的な学習の時間（中）文部科学省編 教育出版
今、求められる力を高める総合的な学習の時間（高）文部科学省編 教育出版

留意事項

毎回の授業のレジュメと資料をファイルに整理し、最後に提出。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

資格科目〈キッズ・教職〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
道徳教育指導論 (中等)	教職中等	13829	Ⅱ/Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
松井 敦	選択	2	中学校教諭中学校教頭小学校校長		

授業の到達目標

道徳教育の基本的な概念を学習し、道徳的な実践力を養う。さらに学校での道徳教育の指導法を考察し、道徳教育指導案の作成と授業を経験する。このクラスではKAISEIパーソナリティーI（知性）を養う。

授業の概要

道徳の意義や原理を踏まえ、学校における道徳教育の目標や内容を理解する。また、多様な道徳教育の指導法を学修し、実際の教科書を使用して指導案検討を行う。

授業計画

- 1 道徳教育の目標・特別の教科 道徳
- 2 道徳の歴史
- 3 道徳の指導案を考える・内容項目について
- 4 道徳教育と国際理解教育
- 5 諸外国の道徳教育の状況・指導案演習
- 6 道徳科の指導・指導案演習
- 7 子ども達をつなぐ授業手法・指導案演習
- 8 モラルジレンマ・指導案演習
- 9 いじめ問題を考える①・指導案演習
- 10 いじめ問題を考える②・模擬授業
- 11 いじめ問題を考える③・指導案演習
- 12 いじめ問題を考える④・情報モラル・指導案演習
- 13 安全防災教育・指導案演習
- 14 防災教育・指導案演習
- 15 まとめテスト(指導案作成)

授業の方法

毎回配布するレジメ・資料を中心にパワーポイントを使って講義を進める。また視聴覚教材を活用しながら学習を深める。講義とグループワークでの演習なども取り入れる。

準備学修

過去に学校で学習した道徳の時間や道徳的な行事を思い返しておくこと。

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

欠席について

やむをえず欠席する時は事前事後に届けること

テキスト

文部科学省編「中学校学習指導要領解説（特別の教科道徳編）」最新版

参考図書

神戸市立小学校採用の道徳の教科書「きみがいちばんひかるとき」1～6年用（光村図書） 神戸市立中学校採用の道徳の教科書「中学道徳 あすを生きる」1～3年用（日本文教出版）

留意事項

授業中に配布した資料をもとに、毎回レポートを作成します

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育原理			17607	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
渡邊 恵梨佳	選択	2				

授業の到達目標

保育と保育者のあり方について基本的な理解を深め、保育の思想や歴史、制度、内容や方法などについて基礎的な用語を学ぶ。また、今日の保育を取り巻く状況や社会環境、保育所のみならず家庭や地域社会での子育ての問題などにふれ、国内外における子育ての現状と課題を把握し保育の問題をとらえる。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

授業の概要

幼稚園や保育所では様々な保育が行われ、多様な保育の考え方が存在する。そこで、子どもを取り巻く近年の社会状況や環境等に視野を広げながら様々な保育課題を考察すると共に、保育の基本的事項（基本原則、保育における養護、目標、内容、環境構成等）や保育の歴史の変遷を踏まえた保育の実践について学びを深める。さらに、幼稚園・保育所と地域との連携（子育て支援活動の実践等）に関する理解及び幼稚園・保育所の安全への対応に関する基本的知識を身に付ける。

授業計画

- 1 オリエンテーション:保育の意義と本質
- 2 保育制度の枠組みとその課題
- 3 保育所の社会的機能と役割
- 4 保育の理念と目的
- 5 保育の目標と方法
- 6 保育者の専門性と資質向上
- 7 日本における保育の思想と歴史
- 8 諸外国の保育の思想と歴史
- 9 保育のねらいと内容
- 10 保育の計画と評価
- 11 子どもの健康と安全
- 12 子どもの発達と保育内容(多様な子どもの理解と保育)
- 13 学校や地域、関係機関との連携と保育
- 14 保育における保護者との連携と子育て支援
- 15 保育の近年の動向と今後の課題・展望

授業の方法

講義を中心とするが、適宜グループワークやディスカッションを取

り入れる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

- ①レポートの提出を求め、講義の中でフィードバックを行う。
- ②平常点70%、定期試験30%で評価する。

欠席について

学内規定に準ずる。

テキスト

「シリーズ知のゆりかご つながる保育原理」株式会社みらい

参考図書

文部科学省「幼稚園教育要領解説」、厚生労働省「保育所保育指針解説書」
内閣府・文部科学省・構成労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教職概論（小）			17613	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
松井 敦	選択	2	中学校教諭中学校教頭小学校校長			

授業の到達目標

教職の意義、教員の役割を理解する。学校教育や教員をめぐる今日的な課題を理解する。教員の資質能力と職務内容について理解し、身に付けることを目標にする。このクラスではKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）を養う。

授業の概要

未来を語るキーワードとして「Society5.0・AI・IoT・ICT・SDGs」が語られ、また学習指導要領、生徒指導要領が改訂され、教育を取り巻く今日の課題が、大きく変わってきている。このような状況の中、教育の課題を整理しながら、教員の資質や能力の向上、研修方法について学び、さらに、学校制度の歴史的な変遷や諸外国の制度との比較から、現在の学校教育の在り方や、「教職」の意義、教員の役割を考察していく。

授業計画

- 1 授業内容のガイダンス、教職の社会的な意義(学校制度の変遷・公教育の目的・学校の組織・教職員研修)
- 2 教育を取り巻く今日の課題
- 3 新学習指導要領がめざすもの ～外国語教育～
- 4 新学習指導要領がめざすもの ～道徳教育～
- 5 生徒指導
- 6 いじめ問題・情報モラルセキュリティ
- 7 教員に求められる資質能力
- 8 教員の服務と義務・働き方改革
- 9 人権教育・教員の人権感覚
- 10 特別支援教育・インクルーシブ教育
- 11 安全・防災教育と危機管理について
- 12 特別活動
- 13 キャリア教育と進路指導・総合的な学習(探求)の時間
- 14 校種間連携・地域連携・チーム学校・コミュニティスクール
- 15 「評価」について・まとめテスト(小論文)

授業の方法

毎回配布するレジメ・資料を中心にパワーポイントを使って講義を進める。また視聴覚教材を活用しながら学習を深める。講義を主とするが、グループワークなども取り入れる。

準備学修

指示されたテキストを事前に読んで理解したり、義務教育関連の情報積極的に収集したりすること。

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

欠席について

やむを得ず欠席する場合は事前事後に届け出ること

テキスト

「小学校学習指導要領（平成29年告示）」（文部科学省）

参考図書

必要に応じて適宜紹介する。

留意事項

毎回の授業のレジメと資料をファイルに整理し、最後に提出。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等体育科指導法			17745	Ⅱ/Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
山本 正実	選択	2	公立小学校教員			

授業の到達目標

体育科の学習指導案を作成し、体育科の模擬授業を行う力を養う。併せて、授業観察力を培う。グループワークを主として行い、KAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）、S（奉仕）の育成を目指す。

授業の概要

小学校体育科の目標、指導計画、学習指導法、教材内容の扱い方を把握する。理解した知識を基に学習指導計画を立て、模擬授業を実施する。また、授業を観察するポイントを理解する。

授業計画

- 1 オリエンテーション。「先生を目指す」ということ。目指す体育授業①
- 2 体育実技を通して「小学校学習指導要領、体育編の内容」に触れる。目指す体育授業②
- 3 小学校学習指導要領・体育編の内容を知る。目指す体育授業③。
- 4 運動の特性について 目指す体育授業④
- 5 学習評価について 目指す体育授業⑤
- 6 授業参観から指導案作りを学ぶ 目指す体育授業⑥
- 7 学習指導案の書き方について
- 8 指導案を作成する。〈外1〉
- 9 指導案を作成する。〈外2〉
- 10 指導案を作成する。〈外3〉
- 11 模擬授業を実施する。〈外1〉
- 12 模擬授業を実施する。〈外2〉
- 13 模擬授業を実施する。〈外3〉
- 14 模擬授業を振り返る。体育授業における教師のマネジメント
- 15 学習のまとめ。これからの体育学習について

授業の方法

少人数グループでの話し合い、調べ学習、作業等を主とする。模擬授業に伴う体育の実技も実施予定である。

準備学修

文部科学省 「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 体育

編」、令和2年度版「神戸市小学校体育指導の手引き」等を読み、学習指導計画案等を事前に調べ、予習・復習等60時間を費やすこと。

課題・評価方法、その他

- ①学習指導計画案と模擬授業、体育授業のマネジメント等について、評価とアドバイスをを行う。
- ②評価方法は平常点45点、学習指導計画案30点、模擬授業25点とする。

欠席について

原則欠席をしない事。登校できる程度なら実技・模擬授業見学でも出席すること。

テキスト

使用しない。

参考図書

文部科学省「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 体育編」令和2年度版「神戸市小学校体育指導の手引き」

留意事項

実技も実施するので、運動のできる服装の用意をする。学外にて、体育授業の参観を行う予定である。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
道徳教育指導論	教職小		17749	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
松井 敦	選択	2	中学校教諭中学校教頭小学校校長			

授業の到達目標

道徳教育の基本的な概念を学習し、道徳的な実践力を養う。さらに学校での道徳教育の指導法を考察し、道徳教育指導案の作成と授業を経験する。このクラスではKAISEIパーソナリティI（知性）を養う。

授業の概要

道徳の意義や原理を踏まえ、学校における道徳教育の目標や内容を理解する。また、多様な道徳教育の指導法を学修し、実際の教科書を使用して指導案検討を行う。

授業計画

- 1 道徳教育の目標・特別の教科 道徳
- 2 道徳の歴史
- 3 道徳の指導案を考える・内容項目について
- 4 道徳教育と国際理解教育
- 5 諸外国の道徳教育の状況・指導案演習
- 6 道徳科の指導・指導案演習
- 7 子ども達をつなぐ授業手法・指導案演習
- 8 モラルジレンマ・指導案演習
- 9 いじめ問題を考える①・指導案演習
- 10 いじめ問題を考える②・模擬授業
- 11 いじめ問題を考える③・指導案演習
- 12 いじめ問題を考える④・情報モラル・指導案演習
- 13 安全防災教育・指導案演習
- 14 防災教育・指導案演習
- 15 まとめテスト(指導案作成)

授業の方法

毎回配布するレジュメ・資料を中心にパワーポイントを使って講義を進める。また視聴覚教材を活用しながら学習を深める。講義とグループワークでの演習なども取り入れる。

準備学修

過去に学校で学習した道徳の時間や道徳的な行事を思い返しておくこと。

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

欠席について

やむをえず欠席する時は事前事後に届けること

テキスト

文部科学省編「中学校学習指導要領解説（特別の教科道徳編）」最新版

参考図書

神戸市立小学校採用の道徳の教科書「きみがいちばんひかるとき」1～6年用（光村図書）
神戸市立中学校採用の道徳の教科書「中学道徳 あすを生きる」1～3年用（日本文教出版）

留意事項

授業中に配布した資料をもとに、毎回レポートを作成します

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
生徒指導論（進路指導を含む）	教職小		17753	Ⅱ/Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
松井 敦	選択	2	中学校教諭 中学教頭 小学校校長			

授業の到達目標

生徒指導の理論と方法、教育相談、進路指導について学ぶ。この講座ではKAISEIパーソナリティのA（自律）でコミュニケーション能力を養い、事例研究の実践でK（思いやり：傾聴力）とI（知性）状況把握力を高める訓練をする。

授業の概要

教科書（文部科学省「生徒指導提要」）を参考資料として授業を進める。生徒指導の方法や生徒理解について考察し、実際の取り組み方を学んでいく。さらに、教育相談の手法を学び、進路指導、キャリア教育も生徒指導の視点から考察する。

授業計画

- 1 生徒指導の意義と目的・「生徒指導提要」の改訂
- 2 教職員の人権感覚・組織対応
- 3 教育の現場の実践から学ぶ
- 4 多様な背景を持つ児童生徒への生徒指導①
- 5 多様な背景を持つ児童生徒への生徒指導②
- 6 セクシャルマイノリティの理解
- 7 性に関する課題
- 8 いじめ問題・情報モラル
- 9 インターネット・携帯電話に関わる問題
- 10 少年非行①
- 11 少年非行②
- 12 自殺
- 13 安全防災教育・危機管理
- 14 進路指導とキャリア教育
- 15 まとめテスト

授業の方法

授業は「生徒指導提要（令和4年12月）」にそって、毎回配布するレジュメ・資料を中心にパワーポイントを使って講義を進める。また視聴覚教材を活用しながら学習を深める。講義を主とするが、グループワークなども取り入れる。

準備学修

テキスト「生徒指導提要（令和4年12月）」（文部科学省）を読むしておくこと。

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

欠席について

やむをえない事情があるときは、事前事後に届け出ること。

テキスト

文部科学省編「生徒指導提要（令和4年12月）」

参考図書

必要に応じて適宜紹介する。

留意事項

毎回の授業のレジュメと資料をファイルに整理し、最後に提出。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
社会的養護Ⅱ			17640	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
曾田 里美	選択	1	児童養護施設職員			

授業の到達目標

現代の子どもたちを取り巻く環境は大きく変化し、それに伴い家庭での養育機能は脆弱化している。家庭養育だけでは子どもの養育は困難な状況となり、国や社会で子どもたちを養育・保護する「社会的養護」が重要となる。地域社会をも含めた施設養護および家庭養護の本質と機能を理解し、援助技術について実践的活動事例を通して学びを深める。このクラスではKAISEIパーソナリティのS（奉仕）を養う。

授業の概要

家庭のもとを離れて施設や里親家庭で生活する社会的養護の子どもたちの背景や実情を理解するとともに、子どもたちが置かれている状況について想像力を働かせ、必要な関わりや支援につなげていくことを目指す。児童養護施設、児童虐待、里親、生い立ちの整理、子どもの貧困など社会的養護に関連する新聞記事や事例、映像などを通して、子どもやその家族の実態や問題の背景について理解を深める。

授業計画

- 1 オリエンテーション 社会的養護Ⅱを学ぶにあたって
- 2 施設における生活と支援
- 3 児童養護施設の事例
- 4 「こうのとりのゆりかご」を通して考える社会的養護①
- 5 「こうのとりのゆりかご」を通して考える社会的養護②
- 6 乳児院の事例
- 7 里親家庭の事例
- 8 まとめ
- 9
- 10

授業の方法

講義とディスカッションを中心とする。双方向の授業のため積極的な参加を求める。

準備学修

日ごろから新聞、ニュース等で子どもを取り巻く問題に関心を深め

ておくこと。

課題・評価方法、その他

平常点30%、定期試験70%

欠席について

公欠以外の欠席は原則認めない。欠席は成績評価において減点する。

テキスト

必要に応じて資料を配布する。

ET 教職科目 <ET 教職科目>	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教職実践演習 (中・高)	ET	14214	IV	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
宮副 紀子/松井 敦	選択	2	中学校教諭中学校教頭小学校校長		

授業の到達目標

中学校又は高等学校の教師を目指す学生が、教職課程科目で学修した教科指導や生徒指導等の内容について実践することを通して、それらの知識及び技能を修得したことを確認する。このクラスでは KAISEI パーソナリティの A(自律)、I(知性)、及び E(倫理)を養う。

授業の概要

中学校及び高等学校の教師として必要な知識や技能である (1) 使命感・責任感・資質に関する知識、(2) 社会性や対人関係能力、(3) 教科の指導力について、十分に修得できているかどうかをグループ討論、ロールプレイング、模擬授業などの演習で、実際の教育現場での実践を想定しながら、確認していく。

授業計画

- ☆今、教育界を取り巻く社会の動きは？
・学習指導要領の改訂・生徒指導要領の改訂・人権三法・合理的配慮・インクルーシブ教育・これからの未来を語るキーワード
- ☆教師の人権感覚
・チェックシートから教師の人権感覚を考える
- ☆年度当初の「学年会議」を想定した実践演習
・「黄金の三日間」が勝負！
- ☆年度当初の「学年会議」「教科会議」を想定した実践演習
・中学1年生学級担任の所信表明・学年目標(指導方針)・三日間計6時間の学級活動の計画
- ☆外国語教育はこう変わっている①
・中学校学習指導要領 外国語科の改訂のポイント・先進校の実践に学ぶ
- ☆外国語教育はこう変わっている②
・先進校の実践に学ぶ・教育実習での授業を振り返る
- ☆主体的・対話的で深い学び①
・新学習指導要領が示す具体的な改定のポイント・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて
- ☆主体的・対話的で深い学び②
・宿泊行事の企画会議を想定した実践演習
- ☆Integrated English①
・教科の指導力についての講義
- ☆Integrated English②
・教科の指導力についての講義と討論

- ☆「通知表の所見」を想定した「評価活動」の実践演習
・視聴覚資料を見て児童生徒の「行動の評価」を考える・通知表所見の表現の工夫
- ☆生徒指導の実践演習
・生徒指導の場面を想定してのケース検討と実践演習
- ☆「総合的な学習(探求)の時間」の実践演習②
・「総合的な学習(探求)の時間」の単元計画を考える
- ☆「道徳の時間」の読み物教材を検討する実践演習
- 資質能力の確認・まとめ ～講評

授業の方法

講義とグループワークを中心に授業を行う。グループワークでは、学年会議・教科会議を想定した実践演習や、総合的な学習の時間の単元計画などの作成、また生徒指導でのケース検討やロールプレイングなどを行い、実際の教育現場での実践を想定した演習を行う。

準備学修

これまでの教職関係の授業資料を準備し、復習しておくこと。

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

欠席について

出席点(100点満点)は全体の20%とし、欠席は1回につき20点減点、遅刻・早退は1回につき6点減点する。

テキスト

適宜、授業資料を配布する。

参考図書

授業中に随時紹介する。

留意事項

教職に対する情熱をもって授業に参加・貢献する誠実な態度が必要である。授業で配布するレジュメや資料を、整理してファイルすること。授業の後半で提出。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

ET 教職科目 <ET 教職科目>	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
生徒指導論	教職中等	14217	II/III	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
松井 敦	選択	2	中学校教諭中学教頭小学校校長		

授業の到達目標

生徒指導の理論と方法、教育相談、進路指導について学ぶ。この講座では KAISEI パーソナリティの A(自律)でコミュニケーション能力を養い、事例研究の実践で K(思いやり:傾聴力)と I(知性)状況把握力を高める訓練をする。

授業の概要

教科書(文部科学省「生徒指導提要」)を参考資料として授業を進める。生徒指導の方法や生徒理解について考察し、実際の取り組み方を学んでいく。さらに、教育相談の手法を学び、進路指導、キャリア教育も生徒指導の視点から考察する。

授業計画

- 生徒指導の意義と目的・「生徒指導提要」の改訂
- 教職員の人権感覚・組織対応
- 教育の現場の実践から学ぶ
- 多様な背景を持つ児童生徒への生徒指導①
- 多様な背景を持つ児童生徒への生徒指導②
- セクシャルマイノリティの理解
- 性に関する課題
- いじめ問題・情報モラル
- インターネット・携帯電話に関わる問題
- 少年非行①
- 少年非行②
- 自殺
- 安全防災教育・危機管理
- 進路指導とキャリア教育
- まとめテスト

授業の方法

授業は「生徒指導提要(令和4年12月)」にそって、毎回配布するレジュメ・資料を中心にパワーポイントを使って講義を進める。また視聴覚教材を活用しながら学習を深める。講義を主とするが、グループワークなども取り入れる。

準備学修

テキスト「生徒指導提要(令和4年12月)」(文部科学省)を読むこと。

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

欠席について

やむをえない事情があるときは、事前事後に届け出ること。

テキスト

文部科学省編「生徒指導提要(令和4年12月)」

参考図書

必要に応じて適宜紹介する。

留意事項

毎回の授業のレジュメと資料をファイルに整理し、最後に提出。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。